

# みずほと一緒に 国会へ行こう会ニュース

11/12/20発行 No.48

〒100-8962 千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館1111号室  
参議院代表番号：03-3581-3111  
電話：03-6550-1111  
FAX：03-6551-1111  
ホームページアドレス  
<http://www.mizuhoto.org>  
E-mail：mizuho-office@jca.apc.org

社会新報 号外 発行所 社会民主党全国連合機関紙宣伝局 週刊(水曜日発行)〒100-0014 東京都千代田区永田町1-8-1 電話 代表03(3580)1171 振替 00140-1-3203 ●定価180円●1ヵ月700円●送料160円



「脱原発をめぐり私たちの会 キックオフ集会」にて、40人以上の女たちがスピーチ。すべての原発が廃炉になるまで、全国の女たちの声をあげ続けましょう！  
(11月23日/座 高円寺にて)

## 明けましておめでとうございます。 今年もよろしくお祈いします。

### 福島みずほ

3月11日の前と後で世界は変わってしまった。私たちは、あまりに大変な体験と現実を経て、「今までとは違う社会」をつくらなければならないと思う。政治の優先順位も変えなければならない。被災地では、まち全体がなくなっていて、港は破壊され、雇用の場も失われていた。また福島原発の近くに住む人たちは、着のみ着のまま避難し、ふるさとに戻れず、実に多くの人たちが今も放射性物質に脅えている。待ったなし。だからこそ政治の出番である。政治が大奮闘しなければならないときである。

そして原発推進から脱原発へ。しっかりと自然エネルギー促進へと政治の舵を切るべきだと考えている。原発はいったん事故が起きると人間がコントロールできないものとなる。事故が起きなくても大量の放射性廃棄物の処分について解決策はない。今

も、放射性物質が海や山や大地や水に降り注ぎ、空気や食べ物を通じて、私たちは内部被曝していく。

私はある子どもに言われた。「あなたたち大人がエネルギー政策を転換できなかったから、私たち子どもが未来へ向かってツケを払わなければならない。あなたたち大人のせいだ」と。その通り。現在と未来の命に対する侵害行為を引き起している。

原発がなくてもやっつけていける。社民党は、「脱原発アクションプログラム」を発表した。

今こそ、「国策」としてやってきた原発推進を変え、自然エネルギーを促進していこう！ そのためにあらゆる人と力を合わせたい。新しいたくさんのお会いに感謝し、2012年もよろしくお祈いします。

2012年が少しでもいい年になりますように！

# 2012年にやりたいこと

- ①東日本大震災からの東北の復興
- ②脱原発の実現：(1) 原発の新增設の禁止(2) 原発を再稼働させない(3) すべての原発稼働ストップ(4) エネルギー基本計画に脱原発が盛り込まれるようにする(5) 高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉を決定させる(6) 核燃料サイクル計画の中止(7) 原発輸出をやめさせる
- ③被曝をさせないための取り組み：(1) 避難への支援、自主避難への経済支援を含めた支援(2) 福島以外の人たちの健康調査などの実現(3) 食品安全基準を厳しくする(4) 全国すべての給食の放射線量チェックの実現
- ④自然エネルギー促進をするための仕組みづくり
- ⑤消費税増税阻止：累進課税の見直しなど、不公平税制の是正を
- ⑥民法改正法案の成立：選択的夫婦別姓の導入、婚外子差別撤廃などの民法改正案を議員立法として提出し、実現するよう、全力を尽くします。
- ⑦選択議定書の批准、国内人権機関の創設
- ⑧労働法制の規制強化
- ⑨障がい者政策：障がい者総合福祉法案、障がい者差別禁止法案がよい内容になるように、がんばります。
- ⑩女性への暴力、子どもへの虐待を根絶するための支援
- ⑪子育て支援：子どもを中心とした子育て支援、学童クラブへの支援を全国各地の現場、自治体議員と取り組みます。
- ⑫医療・介護など：厚生労働委員会で、積極的に取り組みます。
- ⑬貧困根絶、子どもたちへの教育支援
- ⑭憲法審査会を作動させない。憲法価値の実現こそを！
- ⑮沖縄の辺野古沖への新基地建設断念の実現、米軍再編の見直しをさせる、地位協定の改定
- ⑯ TPP へ参加させない
- ⑰戦後補償問題の進展
- ⑱第三次男女共同参画基本計画の実現
- ⑲「脱原発をめざす女たちの会」を広げていく
- ⑳体力づくり



## 福島みずほ 国会質問ハイライト 2011

### ◆参議院予算委員会 2011年3月22日

**福島**：班目さん、2007年、平成19年2月16日、浜岡原子力発電所の裁判の証言で、非常用ディーゼル発電機が2個とも起動しない場合に大変なことになるのではないかと質問を受け、そのような事態は想定しない、そのような想定をしたのでは原発は造れない、だから割り切らなければ設計なんてできませんねと言っていますね。割り切った結果が今回の事故ではないですか。

**班目春樹原子力安全委員長**：確かに割り切らなければ設計ができないというのは事実でございます。その割り切った割り切り方が正しくなかったということも、我々十分反省してございます。

**福島**：反省とはどういうことですか。

**班目**：今後の原子力安全規制行政においては、原子力安全委員会というところはいろいろと意見を申し上げるところでございますけれども、抜本的な見直しがなされなければならないというふうに我々感じております。

**福島**：緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム、SPEEDIと呼ぶ装置があります。これの情報開示を求めます。

**高木義明文部科学大臣**：いわゆるSPEEDIのデータにつきましては、文部科学省のみならず、原子力安全委員会あるいは関係機関とも共有をしております。したがって、特に原子力安全委

員会においては、我が文部科学省で実施したモニタリング、これによって得られた資料をもってそれがどのような影響を与えるのかと、こういうことを評価をすることになっております。したがって、このSPEED Iが十分に活用されるように私どもは期待をし、そしてそのようになるように取り組んでいきたいと思っております。

→翌日にSPEED Iが一枚公表された。しかし、またその後、非公開に。

#### ◆参議院予算委員会 2011年5月2日

**福島：**浜岡原子力発電所が位置する東海地域で30年以内に地震が起きる可能性は70%ということではよろしいですね

**寺坂信昭政府参考人：**お答え申し上げます。中部電力浜岡原子力発電所が位置いたします東海地域を震源域とする想定東海地震の発生確率等につきましては、今年、文部科学省地震調査委員会が本年の1月1日を基準日とした算定結果を公表してございます。これによりますと、30年以内にマグニチュード8程度の想定東海地震が発生する確率は87%というふうになってございます。

**福島：**総理、先ほど浜岡の件で、事故が収束しなくても検討しなくちゃいけないとおっしゃいましたね。それ、浜岡原発、考慮して止めてください。事故が起きたら政府の責任ですよ。日本が破滅するのを誰も見たくないんですよ。段階的廃止、とにかく浜岡は止めてください。総理がそれはできるんです。経産大臣も実は法律でできるんですが、総理、決断をお願いします。

**菅直人首相：**先ほど申し上げましたように、いろいろな意味での御指摘を十分踏まえて検討してまいりたいと思います。

→5月6日、菅直人首相（当時）は中部電力に対して、浜岡原発の停止を要請。

#### ◆参議院予算委員会 2011年7月7日

**福島：**原子力委員会、EPZ、これを30キロ、50キロ、場合によっては80キロ延長するという事でよろしいですね。

**班目：**EPZにつきましては、当然、防災指針の中で書かれているものがございますので、防災指針の見直しと一緒に議論させていただきたいと思っております。

→EPZについては、原子力安全委員会で、現在検討中。

#### ◆参議院予算委員会 2011年6月10日

**枝野幸男官房長官：**私も今、テルルという、これ放射性物質だと思いますけれども、について、今委員が御指摘いただいたような、何というんでしょう、根拠になるようなものかということについては、今の御質問をお聞きをして初めて承知をしたものでございます。

→テルル132が検出されていることから、すでに燃料棒が溶融していることを指摘。この指摘まで、枝野官房長官（当時）は、テルル132が検出されていたことを知らされていなかった。

#### ◆参議院予算委員会 2011年9月29日

**福島：**経済産業大臣、東京電力は福島原発事故が起きたときに撤退をしようとしていたという情報がありますが、これは本当ですか。

**枝野：**詳細は政府の検証委員会で第三者的に検証をしていただいているものと思っておりますが、私が承知をしている認識としては、第一原発からの撤退の申出を受けたと私自身の記憶では認識しております。

#### ◆参議院予算委員会 2011年11月17日

**福島：**玄海原発については地元自治体が同意したと言いますが、佐賀県知事は、九州電力が設置した第三者委員会から玄海原発公聴会のやらせへの関与を指摘されております。このような人物が原発の再稼働について公正な判断ができるんでしょうか。

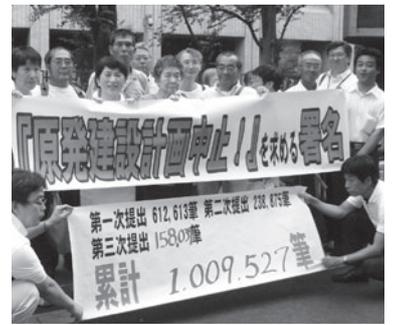
**枝野：**都道府県知事については、民主主義の手続に基づいて各都道府県民の皆さんが選挙で選ばれるわけありますので、そのことについて私の立場から申し上げる立場ではないと思っております。ただ、九州電力については、自らが委託、委嘱をした第三者委員会が提出した報告書について、それを受け止めることもなく、その第三者委員会のメンバーとトラブルになっているという状況のガバナンス状況では、到底再稼働を認めることができる会社ではないと思っております。



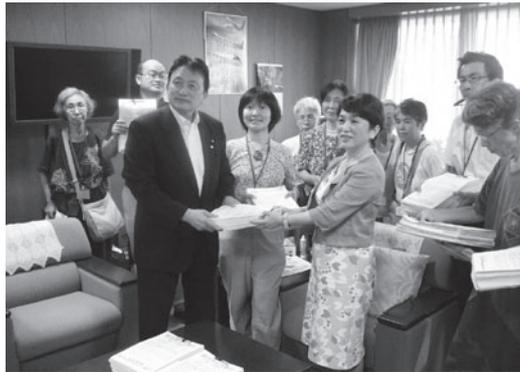
# みずほ 写真館



今回は秩父で「福島みずほとバスで行く若者セミナー」開催。前回はこの場から自治体議員も誕生しました。(7月8日)



祝島の住民の皆さんと一緒に上関原発中止を求める100万人分の署名を携えて経産省に。(8月1日)



中山義活・経産省政務官(当時)に、「もんじゅを廃炉に」の声を届ける。(8月4日)



社民党脱原発アクションプログラムを、市民フォーラムで講演。(8月7日)



終戦記念日に千鳥ヶ淵で戦没者慰霊の誓いを述べる。(8月15日)



3・11以降、多くの脱原発関係、子どもを放射能から守るための集会に参加しました。(9月7日)



さよなら原発9・19集会に参加して、参加者の皆さんと脱原発を誓いあいました。(9月19日)



脱原発をめざす女たちの会キックオフ記者会見。(10月11日)



秋の夜長パーティで、浜岡原発を停止してほしいと連絡し続けた菅前総理登場。(10月18日)



秋の夜長パーティで、田中優さんと「脱原発・エネルギーシフト」について対談。(10月18日)



秋の夜長パーティで、社民党の国会議員からのエール。(10月18日)



秋の夜長パーティで、各地から自治体議員の方々も駆けつけて下さいました。(10月18日)



脱原発対談も、俳優の山本太郎さんと39人になりました。(10月20日)



「みんなの障害者総合福祉法を」の集会で。担当大臣として当事者主体の障がい者施策作りを進めてきたので、これからもしっかり関わります。(10月28日)



女性たちが座り込みをしている経産省前で激励スピーチ。(10月28日)



全米最大の労働組合 AFL-CIO で、TPP について議論。彼女たちは大企業の利益だけが守られると懸念し、慎重な立場。(12月1日)



オキュパイワシントンDCのテントが立ち並ぶ前で。(12月1日)



国際政治学者のジョセフ・ナイ氏と。(12月2日)



フォーリンポリシー主催の祝賀会で、インタビューを受ける。(12月2日)



米連邦議会主催の祝賀会でスピーチ。左は前下院議長のデニス・ハスタート氏。(12月2日)

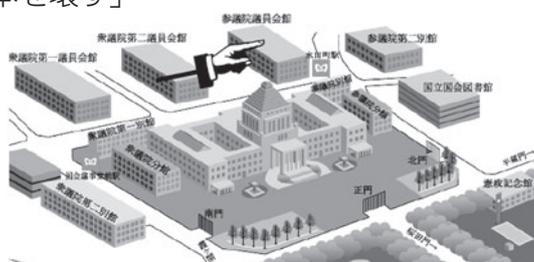
## ●福島みずほと市民の政治スクール

ここから議員も誕生しています。  
すべての回で福島みずほが三二国会報告をします。

## ●福島みずほと市民の政治スクール in 永田町

- 第1回** 2012年2月15日(水)  
講師：斎藤貴男さん(ジャーナリスト) 「消費税のカラクリ」
- 第2回** 2012年3月15日(木)  
講師：田中優子さん(法政大学教授) 「未来のための江戸学」
- 第3回** 2012年4月11日(水)  
講師：鈴木宣弘さん(東大教授) 「TPPは日本を壊す」
- 第4回** 2012年5月17日(木)  
講師：福島みずほ 「福島みずほの国会奮闘記」

**会場**：参議院議員会館講堂または会議室  
**時間**：いずれも18時～20時  
**資料代**：500円



## ■脱原発をめざす女たちの会

11月23日に開催されたキックオフ集会は、多くの脱原発をめざす女たちの熱気に包まれました。全国各地で脱原発を訴えてきた女たちの訴えがありました。互いに支えあい、励ましあって、粘り強く、脱原発をめざしていきましょう。ぜひぜひ来て下さい！

### 集会「再稼働を許すな！」

**日時**：4月7日(土)午後2時スタート  
**会場**：日本教育会館ホール  
**出演**：落合恵子さんのお話  
パネルディスカッション  
「現地でがんばる女たち」大間、六ヶ所、福島、浜岡、  
もんじゅ、上関、玄海など各地から参加予定  
コーディネーター 鎌仲ひとみさん(映画監督)

### 集会「多くの女が脱原発を語ります」

**日時**：6月2日(土)午後2時スタート  
**会場**：日本教育会館ホール  
**出演**：古今亭菊千代さん(落語家)、田中優子さん(法政大学教授) 他



※詳しくは、「脱原発をめざす女たちの会」ホームページをご覧ください！  
URL: <http://datsugenfem.web.fc2.com/>

## ●福島みずほと市民の政治スクール in 神奈川

**第1回** 2012年2月19日(日)  
 講師：広瀬隆さん(ジャーナリスト)  
 「福島原発事故の真相と放射能汚染の恐怖」

**第2回** 2012年4月21日(土)  
 講師：竹信三恵子さん(和光大教授)  
 「震災後の雇用はどうなるのか？」

**会場**：横浜市水道会館(横水会館)

**時間**：いずれも午後13時～

**資料代**：1000円(学割500円)



## ●福島みずほと市民の政治スクール in 千葉

**第1回** 2012年3月3日(土) 18:30～20:00  
 講師：早野透(桜美林大学教授、元朝日新聞記者)  
 「日本政治の進路を語る」

**会場**：千葉市文化センター

**資料代**：500円

**交通**：JR総武線「千葉駅」徒歩10分  
 京成千葉線「千葉中央駅」徒歩10分  
 千葉都市モノレール「葭川公園駅」徒歩3分



**第2回** 2012年5月26日(土) 14:00～15:30  
 講師：福島みずほ(社民党党首)  
 「福島みずほの国会報告」

**会場**：東金文化会館

**資料代**：無料

**交通**：東金駅より徒歩20分、タクシー5分、  
 九十九里鉄道バス(西が丘循環)  
 東金文化会館前下車



# MIZUHO NOTES

## ■お世話になりました

2011年は、本当にお世話になりました。被災された皆さん、放射性物質に苦しみ、脅えている皆さんに寄り添い、しっかりと政治をやっていたと思います。2011年は、震災の被害のために、脱原発のために、人々の被ばくを少しでもなくすために、生活支援のために何ができるか毎日毎日考え、走り続けた日々でした。そんな中で、実に多くの人たちに出会いました。新しい出会いに心から感謝しています。政治の出番。そのことを一人でも多くの人と手をつないでやっていきます。

## ■「世界の100人 2011年」に選ばれました

12月上旬にワシントンDCに行ってみました。これは、アメリカの雑誌「フォーリン・ポリシー」が、私とパートナーの弁護士海渡雄一と一緒に「世界の100人 2011年」に選んでくれたので、そのレセプションに参加するためです。選ばれた理由は、30年以上にわたる裁判と政治の場における、反原発の活動です。励ましてもらって、元気になりました。多くの人たちと手結び、何としても日本で脱原発を実現しなくてはと改めて思いました。また、沖縄の辺野古沖の基地建設とTPPについて、様々な人と意見を交換してきました。辺野古沖に基地をつくることはできないと考える意見を何人もの人たちから聞き、明らかに変化が起きていることを実感しました。予算削減の観点から、米軍のあり方、グアム基地建設も見直しが始まっています。辺野古に基地をつくる計画を日米両政府が断念するよう、しごとくがんばっていきます。

## ■2012年は脱原発を実現

雇用、医療、社会保障、消費税、教育、子育て

支援、男女平等、人権、環境など、政治の課題は実に大きいです。しかし、だからこそ、政治の可能性は大きく、一つ一つ実現をしていくことに全力をあげていきます。どうか、様々な形で応援をしてください。また一緒にがんばりましょう。

## ■福島みずほと市民の政治スクール

議員会館と神奈川、千葉の三ヶ所で、政治スクールを行います。ぜひぜひ参加してください。

## ■脱原発をめざす女子たちの会

4月7日(土)と6月2日(土)の午後2時から日本教育会館で集会を行います。ぜひぜひ参加してください。

## ■ユーチューブについて

脱原発について、小出裕章さんをはじめ、様々な皆さんと対談をしました。ぜひ見てください。またアメリカでのスピーチなどもユーチューブで見られます。ユーチューブアドレスは下に。

## ■ツイッターについて

ツイッターをしています。今フォローしてくれている人が9万2832人以上いらっしゃいます。ありがとうございます。あなたもぜひフォローしてください。毎日、その時々思い、意見などを発信しています。ツイッターアドレスは下に。

## ■大逆事件一〇一年目の集会をやりま

「大逆事件と誤った処刑」  
日時：1月24日(火) 正午から  
場所：参議院議員会館内会議室  
講師：鎌田慧さん「政治裁判を問う」  
他の方のスピーチもあります。

## ■入会リーフレットが新しくできました

ニュースレター発行など「みずほと一緒に国会へ行こう会」の活動は、皆さんの会費やカンパで支えられています。このリーフレットをまわりの皆さんにもお渡しください。ぜひご支援をよろしく願います。

## ■自著紹介

「未来への提言―福島みずほ対談集―」論創社(本体1400円)が出版されました。脱原発、密約問題、江戸について、反貧困などについて、鎌田慧さん、佐藤優さん、西山太吉さん、田中優子さん、湯浅誠さんらと対談しています。ぜひ読んでください。

「12歳のキミに語る憲法」岩崎書店(本体1300円)。雨宮処凛、稲葉剛、森達也、大谷恭子、伊勢崎賢治、山内徳信、斎藤貴男、福島みずほの8人が、憲法の秘めた「ちから」を若い世代に優しく伝える書籍です。

12月19日発売の出来たてホヤホヤです。



## ■書籍紹介

日隅一雄、木野龍逸共著「検証 福島原発事故・記者会見―東電・政府は何を隠したのか」岩波書店(本体1800円)なぜ情報を隠し、誤った説明を繰り返したのか。その全貌を明らかにする一冊。東京原発事故発生以来、東京電力の会見に参加するなど、東京電力を追及し続けている日隅一雄弁護士の本。

海渡雄一著「原発訴訟」岩波新書(本体820円)海渡雄一弁護士が、30年間たってきた原発訴訟を振り返るとともに、福島原発の悲劇を繰り返さないための法的な改善策を提言しています。

## みずほと一緒に国会へ行こう会をあらためてご支援願います

■福島みずほ事務所 〒100-8962  
千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1111号室  
電話:03-6550-1111 FAX:03-6551-1111  
会費は1年間 3000円です。

■会費・カンパの送り先  
口座名称:みずほと一緒に国会へ行こう会  
郵便振替口座:00140-6-34620  
みずほ銀行麹町支店:普通1016663

※寄付金控除の申請書類が必要の方は言って下さい

■ツイッターアドレス twitter@mizuhofukushima  
■YouTubeアドレス  
http://www.youtube.com/fukushimaMizuho#p/u  
■ホームページアドレス  
http://www.mizuhoto.org  
■E-mail mizuho-office@jca.apc.org

メールマガジン配信! ぜひご登録を!  
Twitterもやっています。ぜひフォロワーになってください!!



ボランティアスタッフ大募集!! あなたの力を貸してください!!